



2026年3月期 通期

決算説明資料

日本石油輸送株式会社

東京証券取引所 スタンダード市場 | 証券コード：9074

2026年5月13日

JOT 情熱を、未来の力へ。
Move the Future.



目次 INDEX

1. 会社概要	2
2. 2026年3月期決算概要	4
3. 2027年3月期業績予想	9

会社名	日本石油輸送株式会社（英文名 Japan Oil Transportation Co., Ltd.）
設立	1946（昭和21）年3月27日
代表者	代表取締役社長 原 昌一郎
本社	東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー16階
ウェブサイト	https://www.jot.co.jp/
連結従業員数	1,626名（2026年3月末現在）
市場区分	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：9074）



ジョット君

創立80周年を記念して、日本石油輸送グループ公式キャラクターを制定いたしました。デザインは JOT を連結（JとOとTを重ねたデザイン）させ、グループ各社が一体となり、業務を遂行している姿を現しています。

グループ会社

- 株式会社エネックス
- 近畿石油輸送株式会社
- 株式会社ニチュ
- 株式会社JKトランス

- 石油輸送事業を中核に、事業ポートフォリオの強化と成長分野への取り組みを進め、収益基盤のさらなる強化を図ります。

石油輸送事業



ガソリン・灯油・軽油等の石油製品の鉄道タンク車やタンクローリーによる輸送のほか、石油製品の供給・保管基地の運営管理業務を行っています。

高圧ガス輸送事業



LNG（液化天然ガス）やLPG（液化石油ガス）をはじめ、水素のほか、液化酸素・液化窒素・液化アンモニア等、多様な高圧ガスのタンクローリー輸送を行っています。

化成品・コンテナ輸送事業



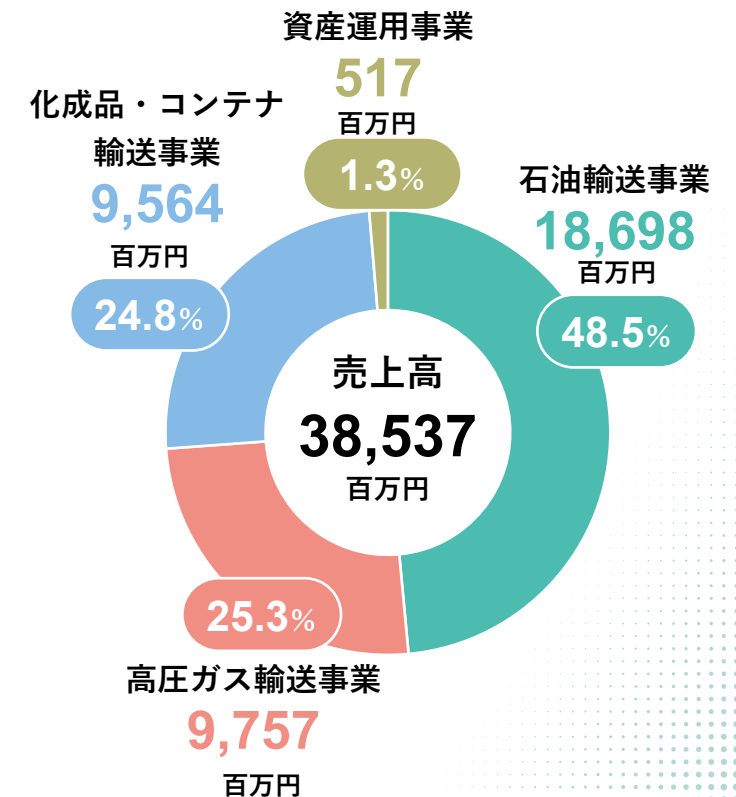
各種化学製品等を輸送する各種コンテナ（ISOタンクコンテナ等）のリース事業および複合一貫輸送サービス事業を行っています。また、農産物、食料品や工業製品等、お客様のニーズに適した各種鉄道用コンテナをレンタル・リースしています。

資産運用事業



保有不動産の有効活用をはかるため、不動産賃貸事業のほか、全国4か所で太陽光発電事業を行っています。

2026年3月期売上高



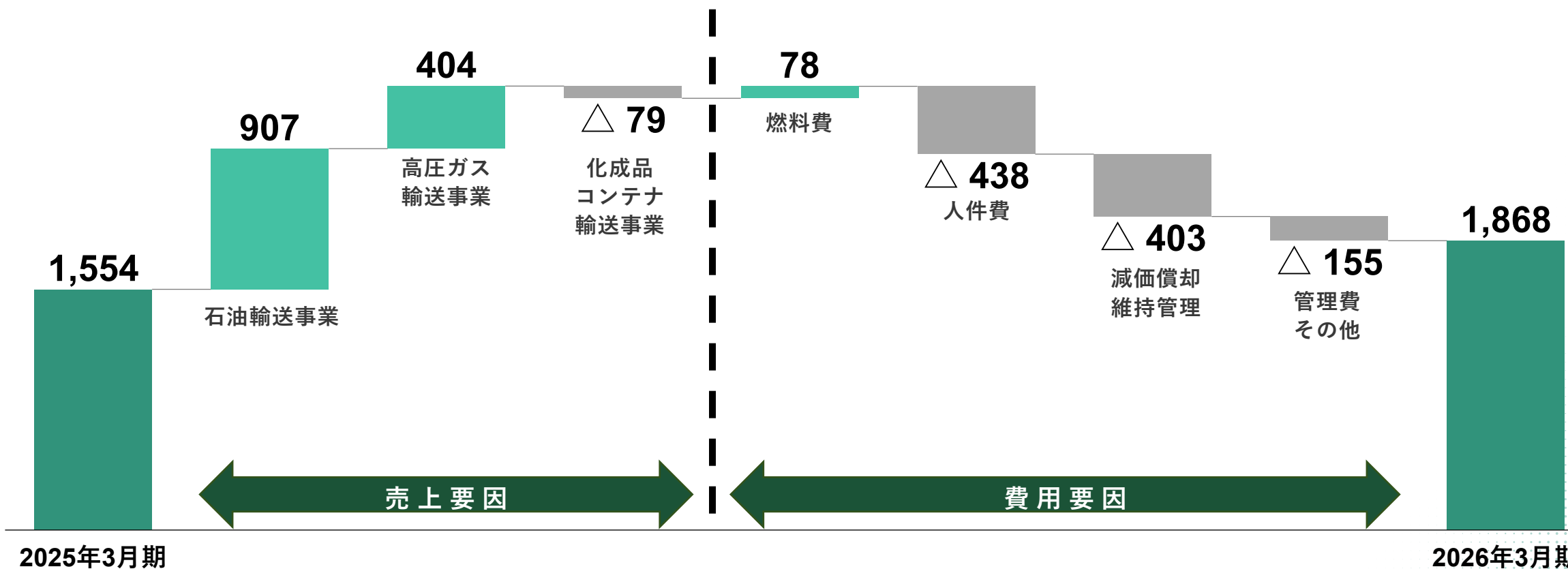
- 売上高は増収を確保するとともに、営業利益および当期純利益は大幅な増益を達成しました。
- ROEおよび1株当たり当期純利益も伸長し、資本効率と株主価値の向上が見られました。

	2025年3月期		2026年3月期		前年比		2026年3月期通期予想		
	(百万円)	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	予想	予想比 (%)
売上高		37,090	100.0	38,537	100.0	+1,447	+3.9	38,200	+0.9
営業利益		1,554	4.2	1,868	4.8	+314	+20.2	1,800	+3.8
親会社株主に 帰属する当期純利益		1,262	3.4	1,507	3.9	+244	+19.4	1,300	+16.0
ROE (%)			5.0		5.4		+0.5pt	—	—
1株当たり 当期純利益 (円)			381.86		456.76	+74.90	+19.6	393.11	+16.2

- 賃上げ等による人件費の上昇、設備投資増加に伴う減価償却費および維持修繕費の増加があったものの、運賃・料金改定による増収等により前年比増益となりました。

(百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



- コンテナ輸送事業は輸送障害等の影響により減収となったものの、石油輸送事業および高圧ガス輸送事業の運賃・料金改定等により増収を確保し、主に石油輸送事業の収益改善により、全体として増収増益となりました。

		2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
		(百万円)			
売上高	石油輸送事業	17,568	18,698	+1,129	+6.4%
	高圧ガス輸送事業	9,365	9,757	+392	+4.2%
	化成品・コンテナ輸送事業	9,615	9,564	△51	△0.5%
	資産運用事業	541	517	△24	△4.5%
	合計	37,090	38,537	+1,447	+3.9%
利益	石油輸送事業	1,095	1,491	+395	+36.1%
	高圧ガス輸送事業	△60	△20	+39	—
	化成品・コンテナ輸送事業	238	146	△91	△38.3%
	資産運用事業	280	250	△29	△10.7%
	合計	1,554	1,868	+314	+20.2%

- 資産は設備投資等で増加しました。負債は当該投資に伴うリース債務等が増加しました。
- ROEおよびROAは改善し、D/Eレシオは低下するなど、財務バランスの改善が進みました。

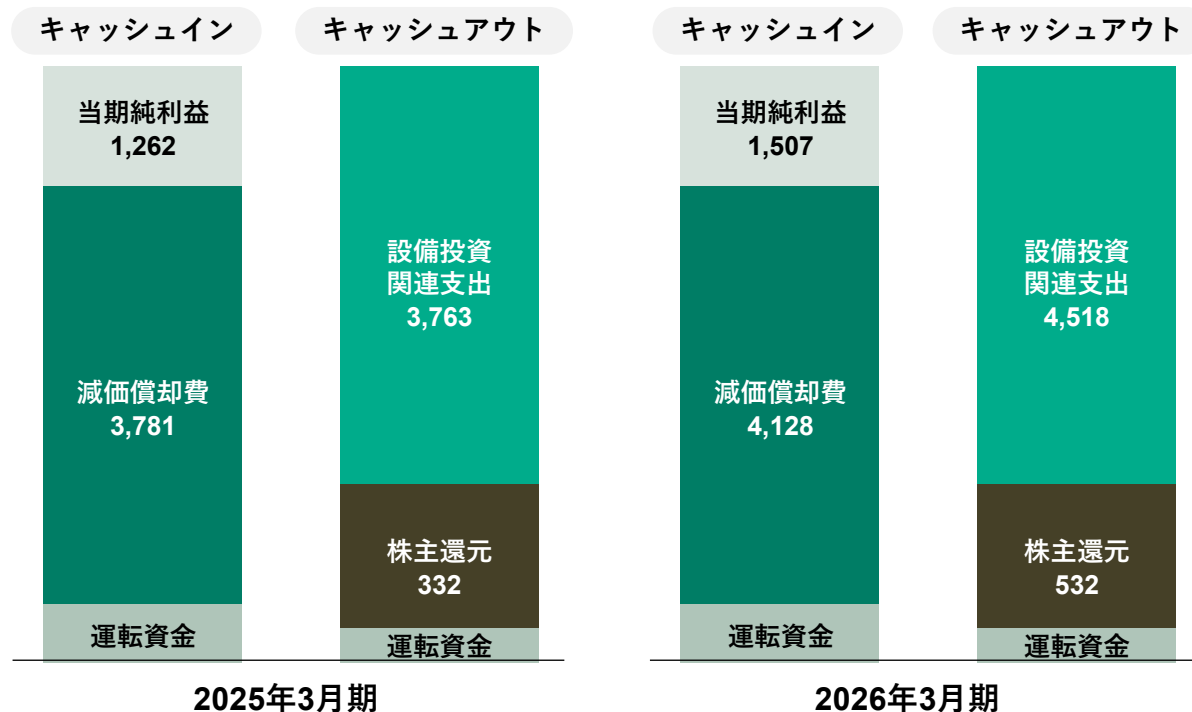
(百万円)	2025年3月期末 (前期)	2026年3月期末 (当期)	前期末比増減
流動資産			
現金預金	5,621	5,915	+294
売上債権	3,912	4,014	+102
リース投資資産	292	430	+138
その他	2,285	2,935	+649
流動資産計	12,111	13,296	+1,185
固定資産			
有形固定資産	21,498	22,103	+604
その他	9,669	14,066	+4,397
固定資産計	31,167	36,170	+5,002
資産計	43,279	49,466	+6,187
ROE	5.0%	5.4%	+0.5pt
ROA	2.9%	3.0%	+0.1pt

(百万円)	2025年3月期末 (前期)	2026年3月期末 (当期)	前期末比増減
負債			
仕入債務	1,810	1,760	△50
借入金	316	387	+71
リース債務	8,417	9,008	+591
その他	6,787	8,541	+1,754
負債計	17,331	19,697	+2,366
純資産			
資本金・資本剰余金	1,952	1,952	0
利益剰余金等	23,995	27,816	+3,821
純資産計	25,947	29,768	+3,821
負債・純資産計	43,279	49,466	+6,187
自己資本比率	60.0%	60.2%	+0.2pt
D/Eレシオ	33.7%	31.6%	△2.1pt

- 設備投資の拡大により収益基盤を強化し、利益成長に伴う株主還元を拡充しています。
- 当期は石油輸送事業の投資を拡大して基盤を強化し、成長事業へも戦略的な投資を継続しています。

キャッシュ配分

(百万円)



セグメント別設備投資金額

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期
石油輸送	1,056	1,770
高圧ガス輸送	2,777	2,470
化成品・コンテナ輸送	1,331	1,170
資産運用	45	40
合計	5,212	5,450

※1 キャッシュフロー計算書の要旨を表すため、一部項目を組み替えています

※2 設備投資関連支出は「有形固定資産の取得による支出+ファイナンス・リース債務の返済による支出」にて算出しているため、セグメント別設備投資金額の合計と差異が発生しています

次期の連結業績につきましては、中東情勢の緊迫化に伴い、当社グループの主要事業である石油輸送事業および高圧ガス輸送事業において、製品価格や需給動向等の先行きが不透明な状況にあります。

このため、当該情勢が経済および当社グループの業績に与える影響の範囲や終息時期を合理的に見通すことが困難であることから、現時点では業績予想を公表しておりません。

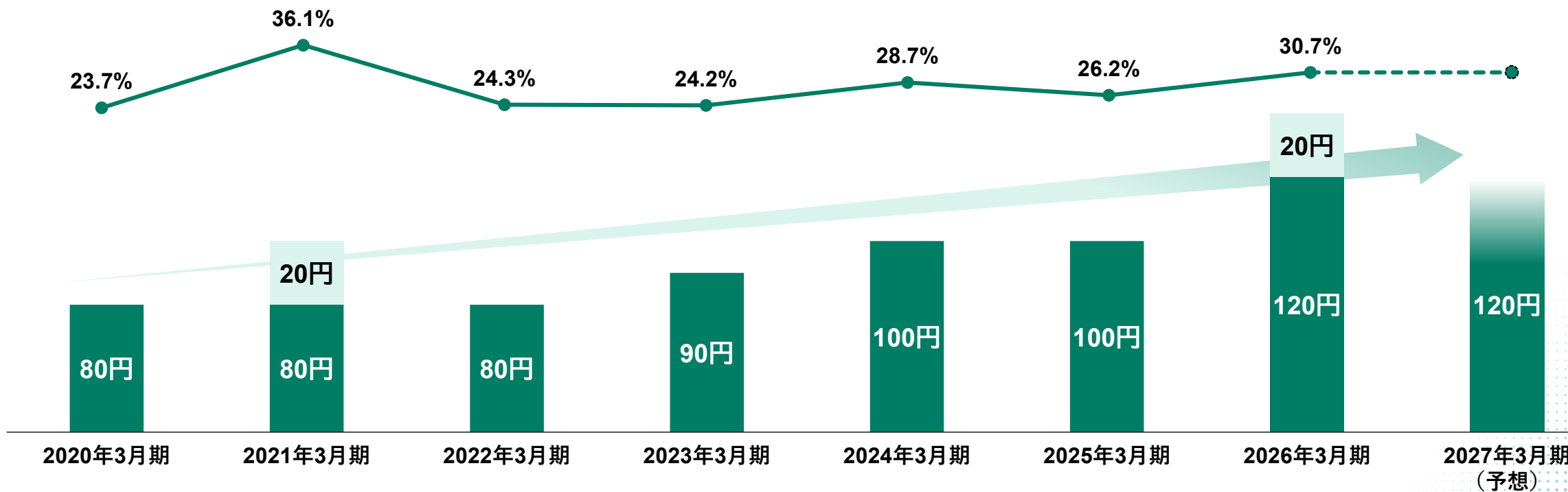
今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

株主
還元方針

- 当社は「株主の皆様に対する安定的な配当の継続」を利益配分に関する基本方針としており、「累進配当」を基本に、2025年3月期から20円増配し、1株当たり年120円以上の配当を継続していく方針です。
- 今後も、業績動向や財務状況、成長投資とのバランスを勘案しつつ、安定的かつ継続的な株主還元に努めてまいります。

1株当たり配当金と配当性向

● 配当性向 ■ 記念配当 ■ 通常配当



免責事項、お問い合わせ先


将来の見通しに関する注意事項

- 本資料に記載されている将来見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

JOT

本内容に関する
お問い合わせ先

日本石油輸送株式会社
総務部

 03-5496-7671

 somubu@jot.co.jp